

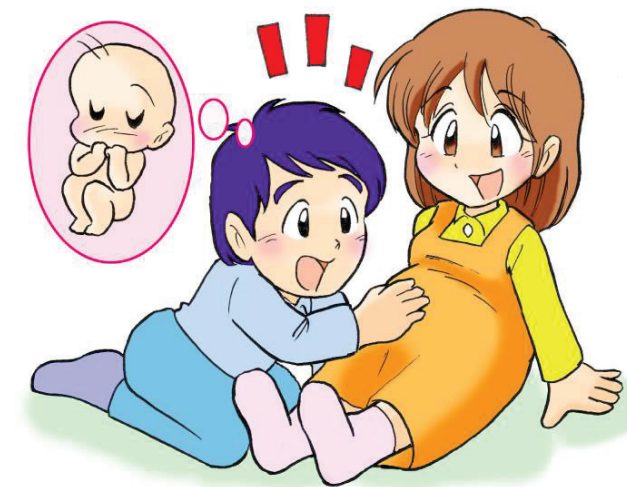


寄って話して 自ら気づく

「親の力」をまなびあう学習プログラム

親になるって!?

～命を授かる責任と喜び～



イラスト：うじな かずひこ

自分のお腹に新しい命が宿っていると知ったとき、あるいはパートナーの妊娠を知ったとき、あなたは、どんな気持ちになりましたか。喜びやうれしさだけでなく、驚き、戸惑い、不安、責任感など、複雑な感情を抱いた方もいるかもしれません。しかし、そんなことは生まれてくる赤ちゃんには関係ありません。生まれてくる命は、あなたの命がそうであるように、かけがえのない大事な命。その命を守り育てる「親」というものについて、少し考えてみませんか。

広島県教育委員会

さらに考えましょう

① 自分を育ててくれた親について、どう思いましたか。

② パートナーの人と、どのように協力しようと思いましたか。

学習を振り返りましょう

自分の中で、分かったこと、考えが変わったことがあれば、書いてみましょう。

県民の皆さんの声（広島県教育モニターアンケートより）

◆ 妊婦さんになった時から、子育て講座等、学ぶ機会があればいいと思います。実際の体験を聞き、感動したりして、いろいろなケースを知り、自分自身を見つめられる機会があればと思います。



◆ 親が「育てる＝自立させる」ことを放棄している、あるいは育て方が分からない（知らない）というケースも多いのではないのでしょうか。子供を可愛がっている親でさえ、子供をペット化している様に見えることがあります。「育てる」ということは、「飼う」とは違います。その先にある「自立させる」という意識が足りないのではないのでしょうか。

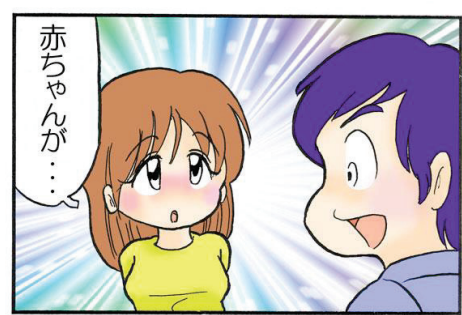
お問合せ：〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47 広島県立生涯学習センター
TEL：082-248-8848 FAX：082-248-8840 E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp

エピソードを読みましょう



結婚して2年が経ち、そろそろ赤ちゃんを授かりたいなあとぼんやり思い始めていた頃、体調の変化を感じました。「もしかして…」
病院で妊娠を確認したものの、実感がわかないというか、信じられないというか…とにかく不思議な気分。「私がママに?!」

仕事から帰宅した夫に「赤ちゃんがね…」と、私は小さな声で打ち明けました。一瞬、ぼかんとした後に、にやっと頬を緩ませた夫。その顔を見て、ああ喜んでくれたんだなとほっとしたのをよく覚えています。
現在は、妊娠25週。つらかったつわりも終わり、妊娠期間も折り返し地点を過ぎました。私と夫は、どんな親になるのでしょうか。楽しみが半分、不安が半分…というのが正直なところですよ。



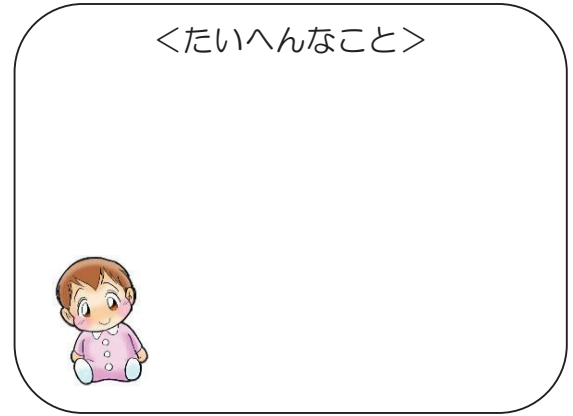
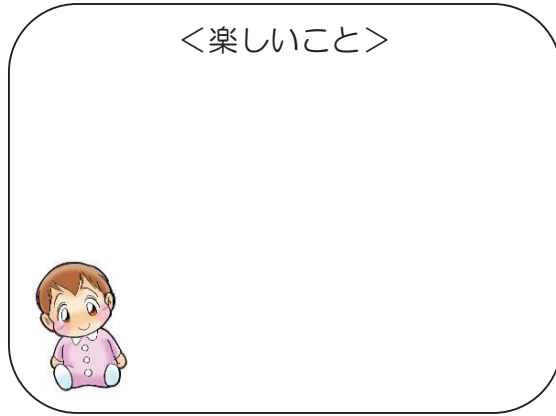
考えましょう、出しましょう

① <女性の方>どのようなことで、自分の妊娠に気が付きましたか。
<男性の方>どのようにして、彼女が妊娠していることを知りましたか。

② その時、どう思いましたか。

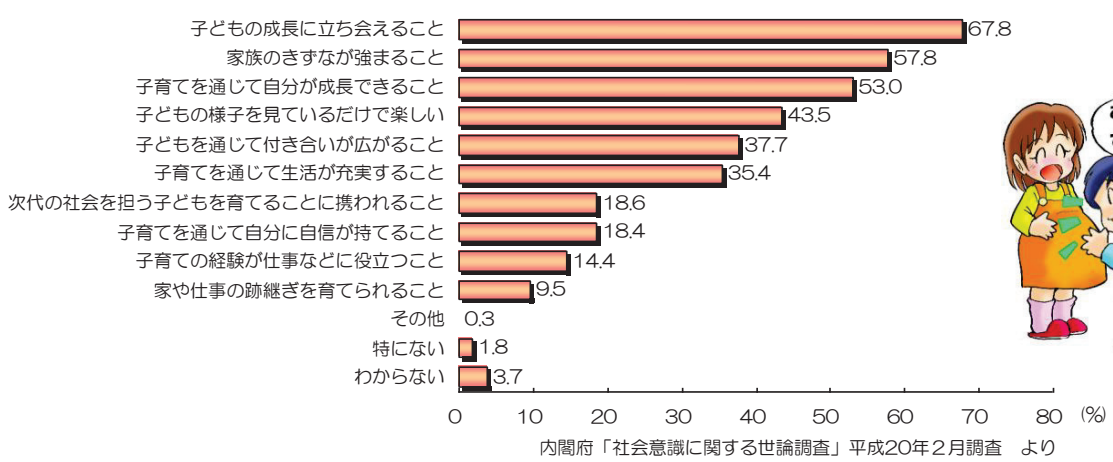
③ 現在、どんな気持ちですか。

④ もうすぐ、あなたは、「親」になります。赤ちゃんとの生活には、どんな「楽しいこと」が待っているでしょうか。また、「たいへんだなあ」と思うことはどんなことでしょうか。「参考資料」を参考にしながら、想像して書いてみましょう。



参考資料

子育ての楽しさの内容 (複数回答)



子育て生活での経験 (0歳児期妻・夫)

